

中日新聞に載りましたあ！

第二デイでご利用者に観て頂いた手品の様子を、中日新聞社様に載せて頂きました。

コロナウイルス感染症の流行でいろいろな活動を自粛していましたが、これからも感染には充分に注意をしながら、ご利用者に喜んで頂けるような活動を提供していく所存です。

宜しくお願い致します。

第2デイサービス
招福便
R5.6月号外

2023年(令和5年)6月14日(水曜日) 信州 14

新型コロナウイルス禍が落ち着き、地域のボランティア活動が再び動き始めた。県内の介護施設などもレクリエーションの一環としてボランティア団体の受け入れを再開。人と人が触れ合い、笑顔の広がる風景が少しずつ戻ってきた。

(北村希)

ボランティア、笑顔戻る



五月二十五日、長野市の介護施設「ケアネットデイサービスセンター」長野第二。長野マジッククラブの会員三人が、施設の利用者約二十人を前に次々と

高齢者らにマジックを披露する木内さん(右奥)＝長野市のケアネットデイサービスセンター長野第二

コロナ落ち着き、マジックなど

手品を披露した。新聞に水を注いでも下から漏れず、出てきたのはピンク色の水。利用者からは「わー」と歓声が上がった。拍手が起った。利用者から受け取った千円札を増やすマジックなど、触れ合いも見られた。

施設ではコロナ禍の約三年間、外部からの受け入れを停止していたが、今年四月に再開した。管理者の笠井紀子さん(左)は「利用者さんたちの表情が和やかになり、活気が戻った」と喜ぶ。

長野マジッククラブは長野市を中心に県内の二十七八代二十五人が活動。介護施設のほか児童館や子ども会育成会などから多い時は年六十回ほどの引き合いがあり、会員が日頃の練習の成果を披露する場にもなっていた。しかし、コロナの流行で依頼はほぼなくなり、昨年は年五回のみ。

今年に入り、ようやく月二回の依頼が来るようになった。会員で福祉施設職員の木内拓海さん(右)は「マジックで少しでも多くの人に笑顔になってほしい」と前を向く。

県社会福祉協議会によると、現在、社協に登録している市民活動団体やNPO法人といったボランティア団体は約四千六百。コロナの影響で、介護や飲食関連などの活動を休止する団体も目立った。コロナの落ち着きとともに感染対策への理解も深まり、子ども食堂やまちづくりのイベントなども徐々に再開しているという。

介護施設「利用者の表情 和やかに」

同社によると延べ約五千人、べ約九千人に影響。県教委によると上田東(ともに坂城(坂城町)三校が十三百を

「げられなかった」と述べ、安心安全の状況が保た

採用選考の一次



- 長野支局
長野市中野所岡田町64-5
(〒380-0936)
026(228)1456
FAX 026(228)0587
nagano-s@chunichi.co.jp
- 松本支局
松本市深志1-1-19
(〒390-0815)
0263(32)3453
FAX 0263(36)7800
(広告) (87) 8953
matumoto@chunichi.co.jp
- 木曾通信局
0264(22)2102
FAX 0264(21)1001
- 塩尻通信部
0263(52)4300
FAX 0263(53)3479
- 飯田支局
飯田市東和町12-21
(〒395-0086)
0265(22)0555
FAX 0265(24)0858
chuiida@chunichi.co.jp
- 伊那通信局
0265(72)2405
FAX 0265(73)9706
- 駒ヶ根通信部
0265(83)2804
FAX 0265(83)1409
- 諏訪通信局
0266(52)0805
FAX 0266(54)0805
- 岡谷通信部
0266(24)0330

田中一戸
きょうも

市)で十二日
回送電車の脱
社は十三日
市)一戸倉
運転を同日に
終日見合わせ
た。クレイン
現場の復旧作
五日始発から
目指している。
事故は十二日
十五分ごろ、
両を止めてお
置線へ続く線
四両編成で三
が、けが人は
因は調査中。運
バスによる代
ている。